▶ 改正に至る背景

経緯

- 条例施行以降、軽微な改正を除き抜本的な改正を行っていませんでした。
- つくばエクスプレス開通以降、沿線の土地区画整理事業により本市の都市構造は大きく変化し、自転車駐車場の需要や駐車する車両の種類も変化しました。
- 令和5年7月1日から一定基準を満たす電動キックボードが、新たに「特定小型原動機付自転車」として位置づけられるなど、道路交通法関連法が改正されています。

➡ 現在の需要や利用に対応した改正が必要

今後の変化

駅周辺

- 初石駅：令和7年度に橋上駅舎化し、駅東口へのアクセスが飛躍的に向上
- 江戸川台駅：令和9年度にジェット口跡地の活用
令和10年度までに駅前商店街を含めた東口ロータリーの再整備

関連法

- 50cc以下の原付販売終了に伴う道路交通法関連法の改正

令和7年11月以降、国の第4次排ガス規制の適用に伴い、現原付の生産・販売が終了します。これにより、原付の基準が見直され道路交通法関連法が改正される予定です。

改正法(案)	排気量	~125cc	125~400cc	400cc~
	定格出力	~4kW	~20kW	20kW~
	新区分	新基準原付	普通自動二輪免許 (普通二輪免許)	大型自動二輪車免許 (大型二輪免許)

➡ 今後の変化を見据えた改正が必要

▶ 改正の考え方

(1) バイクの受け入れ拡充

- ・施設の構造上可能な場合は、原付のほか125cc以下の小型バイク、400cc以下の中型バイクを受け入れ、占用面積に応じて使用料を設定する。
- ・新基準の原付（総排気量125cc以下、最高出力4kW以下）に対応する区分とする。

(2) 使用料の改定

- ・需要に基づいて使用料を設定し、特定の施設に駐車が集中しないようにする。

(3) 無料開放日の拡大

- ・稼働率の低い曜日を無料開放し、施設の活用を図る。

(4) 利用料免除対象の拡充